

第3回宇宙開発委員会定例会議議事次第

45.2.4

1 前回議事要旨の確認

2 昭和45年度宇宙開発予算について

● 配分資料

委3-1 第1回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

委3-2 第2回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

委3-3 昭和45年度宇宙関係予算の総括表

第1回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

- 1 日時 昭和45年1月21日(水)
午後2時~4時
- 2 場所 科学技術庁第2会議室
- 3 議題 (1) 新委員長の挨拶
(2) 委員長代理の指名
(3) 前回議事要旨の確認
(4) 米国の航行衛星システムによる位置測定実験について
- 4 出席者
委員長 西田 信一
委員 山 県 昌 夫
" 大 野 勝 三

関係行政機関職員

- 科学技術政務次官 藤 本 孝 雄
- " 事務次官 藤 波 恒 雄
- 科学技術庁研究調整局長 石 川 晃 夫
- 科学技術庁宇宙開発参事官 加 藤 博 男
- 運輸省大臣官房参事官(代理:官房政策課 清 水 正 義)
- 気象庁総務部長(代理:研究業務課 中 村 繁)
- 海上保安庁総務部長(代理:水路部編暦課 山 崎 昭)

44/10-21
45/3-31
委員等
氏名と、空内、番
在所
出席状況

- 電子航法研究所衛星航法部長 木 村 小 一
- 郵政省電波監理局審議官(代理:電波監理局技術調査課 市 川 洋)
- 郵政省電波監理局無線通信部長(代理:電波監理局技術調査課 植 田 政 司)
- 建設大臣官房技術参事官(代理:大臣官房技術参事官室 中 村 六 郎)

5 配布資料

- 委1-1 第30回宇宙開発委員会定例会議議事要旨
- 委1-2 海軍航行衛星システムによる位置測定について
- 委1-3 第一回ロケット打上げ実験について
- 委1-4 打上げ実験用ロケットノート

6 議事要旨

- (1) 委員長挨拶
西田新委員長から就任の挨拶があつた。
- (2) 委員長代理の指名
西田委員長から、委員長代理を従来に引き続き山県委員にお願ひしたい旨発言があり、同委員を代理として指名した。
- (3) 前回議事要旨の確認
「第30回宇宙開発委員会議事要旨」が確認された。
- (4) 米国の航行衛星システムによる位置測定実験について
運輸省電子航法研究所 木村 衛星航法部長から、米国の航行

衛星システムによる位置測定実験について配布資料に沿って説明があつたのち、委員の質問に対し、次の補足説明があつた。

- 測定の精度は、受信機の精度にも関係するが、衛星の軌道予測によるところが大きく、これだけで数百メートル程度となる。
- この装置を利用した航法の特徴は全天候かつ既存のオメガなどよりも精度が高いことであり、本年九月から三光汽船がこれを運用のために使用することとなつている。

第 2 回宇宙開発委員会定例会議議事要旨

- 1 日 時 昭和 45 年 / 月 28 日 (水)
午後 2 時 ~ 4 時
- 2 場 所 科学技術庁第 2 会議室
- 3 議 題 昭和 45 年度宇宙開発予算について
- 4 出席者 委員長代理 山 県 昌 夫
委 員 大 野 勝 三
" 吉 識 雅 夫

関係行政機関職員

- 科学技術庁研究調整局長 石 川 晃 夫
- 文部省大学学術局審議官 (代理: 大学学術局学術課長 笠 木 三 郎)
- 通商産業省重工業局次長 (代理: 重工業局航空機武器課 渡 部 正)
- 運輸省大臣官房参事官 (代理: 大臣官房副 政策計画官 清 水 正 義)
- 海上保安庁総務部長 (代理: 水路部編暦課 山 崎 昭)
- 電子航法研究所衛星航法部長 木 村 小 一
- 郵政省電波監理局審議官 (代理: 電波監理局技術調査課 市 川 洋)
- 郵政省電波監理局無線通信部長 大 塚 次 郎
- 建設大臣官房参事官 (代理: 大臣官房技術調査官 中 村 六 郎)

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長 堀之北 克 朗他

- 5 配布資料
 - 委 2-1 昭和 45 年度宇宙開発関係予算復活要求表
 - 委 2-2 昭和 45 年度宇宙開発予算大蔵省内示額総括表
 - 委 2-3 宇宙開発重点項目
- 6 議事要旨

○ 昭和 45 年度宇宙開発予算について

事務局から昭和 45 年度宇宙開発予算の第二次査定および復活要求につき総括的な説明があり、続いて文部省大学学術局学術課笠木課長から東京大学宇宙航空研究所関係の予算につき説明があつた。

この説明に関して、委員より現時点における計画と宇宙開発計画との関係につき質問があり、文部省および科学技術庁から次のような説明があつた。

- (イ) 東京大学宇宙航空研究所関係は、昭和 45 年度中に 1 号および 1 号予備衛星を打上げる予定であり、その結果第 1 号 2 号、3 号の各衛星の打上げはそれぞれ計画から 1 年度遅れ、昭和 45 年度、46 年度、47 年度に行なわれることとなろう。
- (ロ) 宇宙開発事業団関係は、復活要求を行なつており、これがすでに認められるなら計画変更の必要はないと考える。

昭和45年度宇宙肉係予算の総括表

委 3-3

45 / 4
(単位 千円)

科学技術庁

省 庁	昭和44年度			昭和45年度		
	宇宙肉係予算	その他宇宙係予算	合計	宇宙肉係予算	その他宇宙係予算	合計
科学技術庁	⑤ 5,046,064	—	⑤ 5,046,064	⑤ 6,857,299	—	⑤ 6,857,299
	5,710,991	—	5,710,991	11,358,333	—	11,358,333
文部省	⑤ 597,000	—	⑤ 597,000	⑤ 410,200	—	⑤ 410,200
	1,809,489	1,217,958	3,027,447	1,560,409	1,303,048	2,863,457
郵政省	⑤ 42,000	⑤ 376,000	⑤ 418,000	⑤ 110,000	⑤ 73,000	⑤ 183,000
	107,692	113,076	220,768	42,000	381,834	423,834
運輸省	22,604	101,727	124,331	48,478	120,750	169,228
通商産業省	114,300	—	114,300	111,000	—	111,000
建設省	28,535	—	28,535	—	12,635	12,635
総計	⑤ 5,685,064	⑤ 376,000	⑤ 6,061,064	⑤ 7,377,499	⑤ 73,000	⑤ 7,450,499
	7,793,011	1,432,761	9,225,772	13,120,220	1,818,267	14,938,487

昭和45年宇宙開発(委員会)の予算(属招給)関係予算の概要

(債)は国庫債務負担行為
(単位 千円)

科学技術庁

省庁	担当機関	事項	昭和44年度 予算額	昭和45年度 予算額	主な内容	昭和45年度 予算額 (昭和44年度 予算額)
	研究開発	宇宙開発委員会 必要経費	10,747	19,744		
科学 技術 庁		一般行政(必要経費等)	367,538	765,791		
					宇宙開発事務処理	5,736 (4,575)
					宇宙開発普及啓発	10,055 (10,011)
					種子島周辺漁業対策事業の助成	750,000 (350,000)
					その他	0 (2,962)
		科学技術者の資質 向上に必要経費	0	3,467	宇宙開発関係者の海外派遣	3,467 (0)
		小計	378,285	789,002		
	航空宇宙技 術研究所	航空宇宙技術研究 所に必要経費	787,395	(債)1,000,000 415,331	液酸ロケットエンジンの研究	41,000 (32,200)
					誘導用センサ系高精度化の研究	25,000 (24,000)
					固体ロケット燃焼中継の研究	7,800 (7,800)
					ロケットエンジン高空性能試験設備	(債)1,000,000 100,000 (0)
					相対超音速風洞真空槽増設	42,200 (0)
					電子計算機借料	148,792 (290,424)
					角田支所運営その他	50,339 (432,971)

部	担当機関	事項	昭和44年度 予算額	昭和45年度 予算額	主な内訳
科学技術庁	宇宙開発事業団	宇宙開発事業団出資及び成長投資経費	⑤ 5,046,064 3,059,000	⑤ 5,857,299 10,154,000	主な歳入 政府出資金 ⑤ 5,857,299 / ⑤ 5,046,064 9,416,000 (2,812,000)
					政府補助金 738,000 (247,000)
					主な歳出 (概算)
					⑤ 1,998,000 (⑤ 3,439,000)
					⑤ 5,562,000 (⑤ 1,206,000)
					⑤ 3,217,000 (⑤ 507,000)
					⑤ 1,323,000 (⑤ 587,000)
					⑤ 315,000 (⑤ 1,051,000)
					⑤ 6,759,000 (⑤ 763,000)
					⑤ 226,000 (⑤ 105,000)
	宇宙開発推進本部	宇宙開発推進本部成長投資経費	1,486,311	0	
	計		⑤ 5,046,064 5,710,991	⑤ 6,857,299 11,358,333	

小計の7-1-1
2-1-1
2-2-1
2-3-1
2-4-1
2-5-1
2-6-1
2-7-1
2-8-1
2-9-1
2-10-1
2-11-1
2-12-1
2-13-1
2-14-1
2-15-1
2-16-1
2-17-1
2-18-1
2-19-1
2-20-1
2-21-1
2-22-1
2-23-1
2-24-1
2-25-1
2-26-1
2-27-1
2-28-1
2-29-1
2-30-1
2-31-1
2-32-1
2-33-1
2-34-1
2-35-1
2-36-1
2-37-1
2-38-1
2-39-1
2-40-1
2-41-1
2-42-1
2-43-1
2-44-1
2-45-1
2-46-1
2-47-1
2-48-1
2-49-1
2-50-1
2-51-1
2-52-1
2-53-1
2-54-1
2-55-1
2-56-1
2-57-1
2-58-1
2-59-1
2-60-1
2-61-1
2-62-1
2-63-1
2-64-1
2-65-1
2-66-1
2-67-1
2-68-1
2-69-1
2-70-1
2-71-1
2-72-1
2-73-1
2-74-1
2-75-1
2-76-1
2-77-1
2-78-1
2-79-1
2-80-1
2-81-1
2-82-1
2-83-1
2-84-1
2-85-1
2-86-1
2-87-1
2-88-1
2-89-1
2-90-1
2-91-1
2-92-1
2-93-1
2-94-1
2-95-1
2-96-1
2-97-1
2-98-1
2-99-1
2-100-1

省	担当機関	事項	昭和44年度 予算額	昭和45年度 予算額	主な内容
文 部 省	東京大学 宇宙航空 研究所	特別卒業等K14 要反経費	⑤ 597,000	⑤ 410,200	科学衛星研究経費 ⑤ 410,200 (⑤ 792,156)
			1,809,489	1,560,409	874,082 (1,257,860)
					M1以下自然経費 ⑤ 0 (⑤ 480,438)
					686,327 (803,640)
	計		⑤ 597,000 ⑤ 410,200		
			1,809,489	1,560,409	
通 商 産 業 省	工業技術 院	試験研究所の特 別研究等K14要反 経費	114,300	111,000	宇宙衛星関連技術に関する 研究(機械試験所) 23,000 (23,300)
					宇宙電子技術に関する研究 (電気試験所) 80,000 (84,000)
					人工衛星軌道解析用スパー シミュレカメラ製作研究 (大阪工業技術試験所) 8,000 (7,000)
	計		114,300	111,000	

245/15426
3999子位号

省庁	担当機関	事項	昭和44年度 予算額	昭和45年度 予算額	主な内容
運輸省	気象研究所	気象研究所K必要 な経費	12,491	15,163	人工衛星による放射観測K研究 15,163 (12,491)
	電子航法 研究所	電子航法研究所K 必要経費	10,113	33,315	衛星航法システムK研究 電波無響室施設整備 16,718 (10,113) 16,597 (0)
	計		22,604	48,478	
郵政省	電波研究所	電波研究所の運営 K必要経費	42,000	110,000	三波中継器の試作研究 ① 110,000 (② 42,000) 42,000 (79,000)
		人工衛星の研究開発 K必要経費	28,092	0	
	計		① 42,000 ② 110,000	① 110,000 ② 42,000	
建設省	国土地理院	測地基準点測量K 必要経費	28,535	0	
	計		28,535	0	
合計			7,377,499		
合計			13,120,220		

昭和45年度その他の宇宙関係(委員会等)に属さないもの経費の概要

部	担当機関	事項	昭和44年度 予算額	昭和45年度 要求額	主な内訳							
文 部 省	東京大学 宇宙航空 研究所	特別事業等 に必要経費	1,217,958	1,303,048	一般ロケット観測	459,203 (388,403)						
					太陽活動期国際観測年観測	258,264 (312,391)						
					飛行経費	78,144 (104,355)						
					共通経費	481,613 (412,829)						
					国際宇宙観測共同事業経費	25,824 (0)						
					計	1,217,958	1,303,048					
運 輸 省	気象庁 気象研究所	一般観測予報業務 に必要経費	2,136	2,136	気象衛星地上受信施設整備	2,136 (2,136)						
					上高層気象観測業 務に必要経費	89,834	105,077	気象ロケット観測業務	105,077 (89,834) +15			
								気象研究所に必要 経費	9,757	8,587	ロケット観測による超高層大気の研究	8,587 (9,757) -1.2
											電子航法研究所 に必要経費	0
計	101,727	120,750										

行	担当機関	事項	昭和44年度 予算額	昭和45年度 予算額	主な内訳
郵政省	電波研究所	電波研究所の運営 に必要な経費	113,076	150,481	宇宙通信の実験研究 123,481 (113,076)
					周波数拡張試験実験施設整備 27,000 (0)
		衛星管制施設の 整備に必要な経費	① 376,000 0	① 73,000 231,353	衛星管制施設の整備 ① 73,000 (① 376,000) 7 73,000 - 231,353 = 231,353 (0)
	計	① 376,000 113,076	① 73,000 381,834		
建設省	国土地理院	測地基準実測量に 必要な経費	0	12,635	天文測量その他 12,635 (0)
	計	0	12,635		
	合計	① 376,000 1,432,761	① 73,000 1,818,267		

注、この他科学技術庁の特別研究促進調整費から約3千万円が宇宙関係充当分として支出される。